

# 会 議 議 事 録

1	会議名	第12次第4回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2	開催日時	令和4年2月25日（金曜日）（書面審議 書面提出期限）
3	開催場所	書面審議（新型コロナウイルス感染防止のため）
4	出席者名	<p>（委員）中村会長、林副会長、松井委員、高橋委員、元井委員、畔上委員、田中委員、加勢委員、山添委員、寺本委員、松永委員、阿部委員、武澤委員、佐野委員、竹内委員、三留委員、諸橋委員、矢澤委員、三澤委員、丸山委員、酒井委員</p> <p>（事務局）相田環境部長、桜井環境政策課長、平澤環境施設課長、山口環境業務課長、長谷川環境業務課長補佐、小林環境業務課減量推進担当係長、永井環境美化担当係長、佐藤環境業務課主査</p>
5	欠席者名	なし
6	議題	<p>(1) 令和4年度長岡市一般廃棄物処理実施計画（案）について</p> <p>(2) 令和4年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率（市内）について</p>
7	審議結果の概要	・議題（1）、（2）について承認された。
8	審議の内容	
	委員	<p>(1) 令和4年度長岡市一般廃棄物処理実施計画（案）について主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みや啓発内容が分かりやすい表現で良いと思うが、文字が小さすぎて読みにくいので、もう少し文字を大き目をお願いしたい。</li> <li>・不法投棄防止パトロールの一層の強化を望む。</li> <li>・食品ロスを削減できるように私たち市民も協力をより一層できる体制を目指していければと思う。</li> <li>・計画どおり実施されることを願う。</li> </ul>
	委員	<p>(2) 令和4年度ごみ発生量と資源化量及びリサイクル率（市内）について主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度見込みから令和4年度計画での全体的な減少理由をお聞かせください。</li> </ul>
	環境施設課	⇒令和元年から令和2年度にかけては、新型コロナウイルスの影響で在宅ワークなど家にいる時間が長くなりごみの排出量も増加したが、人口減少や生活様式の変化により減少傾向にあると予測しました。
	委員	・少しでもリサイクル率が上がることを希望する。

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル率の目標値を達成できることを期待する。</li> <li>・令和2年度から比較できる内容の資料で分かりやすい。</li> <li>・省資源なりリサイクル率が進むことを願う。</li> </ul>
委員	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市の予算案で環境部の予算配分が低いのは如何なものかと思う。市民生活で排出される廃棄物の処理にかかわる予算をもう少し大切に考えて予算配分されているのか心配。</li> </ul>
環境業務課	⇒廃棄物処理が適切にできるように予算要求を行います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と一体となり、活動を進めていけたら良いと思う。特にSDGs等、環境の意識が今高まっているのでチャンスだと思う。</li> </ul>
環境業務課	⇒SDGs等については、情報誌などを活用し分かりやすい表現で情報発信を行います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックごみの量が増えるばかりで心配になる。難しいことだが、小売りの段階で、商品の包装の方法を変えられるようにならないものかと思う。</li> </ul>
環境業務課	⇒プラスチックに関しては、令和3年6月公布の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、製品の設計から販売、提供、プラスチック廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取り組みを促進するための措置が講じられます。そのため、取り組みが進めば商品の包装なども変わってくると考えられます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料がとてもわかりやすく学びになる。</li> <li>・各家庭ではごみの分別が出来ている様に思うが、燃やすごみに比べ週2回の生ごみの出し方が少ないように思う。分別が面倒と言う方もいる。</li> </ul>
環境業務課	⇒生ごみはエネルギー資源として活用ができるため、分別をお願いしています。また、生ごみを分別することにより燃やすごみの量を削減でき、ごみを燃やした後の焼却灰が減少することにより、最終処分場の寿命を延ばすことができます。 今後も分別のメリットを情報誌などを活用して周知していきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集カレンダーの下の段に資源ごみの活用など入れてもらえると良い。</li> </ul>
環境業務課	⇒スペースの都合上、資源ごみの活用を掲載することは難しいですが、「ごみと資源物の分け方と出し方」や情報誌を活用し、資源ごみがどのように活用されているかを周知していきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的団体には資源物持込み支援活動奨励金を交付している様だが、拠点回収にも個人であっても、トイレトペーパーとかラップとかと交換できる物があると、ごみの見方も変わってくると思うがどうか。</li> </ul>
環境業務課	⇒資源物の拠点回収では、有料の燃やさないごみの指定袋を使用する小型家電、食器類、かばん・ベルトや靴を無料で受け付けています。受付後の収集運搬や中間処理に係る費用があるため、現状ではトイレトペーパー等との交換は難しいですが、頂いたご意見を参考に資源物の拠点回収事業がより良くなるようにしていきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオガスで発電された電気の使用用途を市民に還元するようわかりやすくできないか。売却などではなく新しい市民への還元および見え方を考えてもらいたい。</li> </ul>

環境施設課	⇒平成 28 年 3 月 1 日から生ごみから生まれた電気を市民に見える形として EV 車等の普及促進と生ごみバイオガス化事業の周知、PR を図るため、施設内に EV 充電スタンドを設置しました。生ごみを分別することでエネルギーに生まれ変わり、市民に無料で提供しています。 また、市のホームページや広報等で、施設の運転状況を毎月更新し、生ごみバイオガス化事業の周知と、PR を行っています。
9 会議資料	別添のとおり